

北朝鮮から発射された弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合の対応について

内閣官房 国民保護ポータルサイトより

※「注意が必要な地域」にJアラートは配信されます。

(Jアラートは日本全国に配信されるわけではありません。Jアラートが鳴るのはJアラートによる情報配信が必要な地域のみです。)

全国瞬時警報システム(Jアラート)が使用されるケース

※ 警報のサイレン音、緊急速報メール等を併用

<ケース1> 弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合

Jアラート 「ミサイル発射。ミサイル発射。北朝鮮からミサイルが発射された模様です。頑丈な建物や地下に避難して下さい。」

- ① 屋外にいる場合は、近くの頑丈な建物や地下(地下街や地下駅舎などの地下施設)に避難

その後、弾道ミサイルが日本の領土・領海に落下する可能性がある場合

Jアラート 「直ちに避難。直ちに避難。直ちに頑丈な建物や地下に避難して下さい。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに避難して下さい。」

- ② 屋外にいる場合には、直ちに近くの頑丈な建物や地下に避難
近くに適切な建物等がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る
屋内にいる場合には、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋に移動

その後、弾道ミサイルが日本の領土・領海に落下したと推定された場合

Jアラート 「ミサイル落下。ミサイル落下。ミサイルが〇〇地方に落下した可能性があります。続報を伝達しますので、引き続き屋内に避難して下さい。」

- ③ 避難を継続

<ケース2> 弾道ミサイルが日本の領土・領海の上空を通過した場合

Jアラート 「ミサイル発射。ミサイル発射。北朝鮮からミサイルが発射された模様です。頑丈な建物や地下に避難して下さい。」

- ① 屋外にいる場合は、近くの頑丈な建物や地下(地下街や地下駅舎などの地下施設)に避難

その後、弾道ミサイルが日本の上空を通過したことが確認された場合

Jアラート 「ミサイル通過。ミサイル通過。先程、この地域の上空をミサイルが通過した模様です。不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡して下さい。」

- ② 不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察、消防や海上保安庁に連絡

<ケース3> 弾道ミサイルが日本の領海外の海域に落下した場合

Jアラート 「ミサイル発射。ミサイル発射。北朝鮮からミサイルが発射された模様です。頑丈な建物や地下に避難して下さい。」

- ① 屋外にいる場合は、近くの頑丈な建物や地下(地下街や地下駅舎などの地下施設)に避難

その後、弾道ミサイルが日本の上空を通過したことが確認された場合

Jアラート 「先程のミサイルは〇〇海に落下した模様です。不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡して下さい。」

- ② 不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察、消防や海上保安庁に連絡

** <ケース2>、<ケース3> の場合であっても、ミサイルの上空通過に伴い落下物の危険性があるため、物陰に身を隠す・地面に伏せて頭部を守る・窓から離れるを実践する。

- ※ 北朝鮮のミサイル発射を検知し、Jアラートを受信するまでに約5分を要する。
8/29 北海道沖にミサイルが到達したのは発射から10数分後で、本州であるならば到達時間はもっと早いと考えられる。
避難に使える時間は3~4分程度しかなく、日頃から自分の行動パターンに応じた避難場所や避難方法をシュミレーションしておくことが重要。
- ※ 自宅にいる時間帯にJアラートが発令された場合、当日またはいつから登校すべきかを学校から連絡する。(Cocoメール・ホームページによる連絡)
その連絡を受けるまでは避難継続・自宅待機とする。
- ※ 登下校中にJアラートが発令された場合は、身の安全を最優先し、上記<ケース1>②に従って行動する。自宅待機を原則とし、帰宅後は学校からの指示を待つ。
- ※ 学校にいる際にJアラートが発令された場合は、教員の指示に従って行動する。